

地震予知研究ノート No.3

佃 為成

(東京大学地震研究所 地震地殻変動観測センター)

2008年9月

目次

		ページ
前兆現象の研究のための観測点	佃 為成	3～11
前兆現象研究観測点の概要（1995年～2008年）	佃 為成	12～38
兵庫県猪名川町井戸水温上昇変化	佃 為成	39～40
東海地方の水温上昇変化	佃 為成	41～42
2004年紀伊半島沖地震（M7.4）の前兆的水温変化と地殻変動	佃 為成	43～49
2008年四川大地震（M8.0）と海潮温泉の水温上昇変化	佃 為成	50～51
温泉の電気伝導度測定	佃 為成	52～53
和歌山観測所地電位観測	佃 為成	54～61
樹木電位観測	佃 為成	62～72
井戸水電位観測	佃 為成	73
亀岡市の井戸水の濁り	佃 為成	74～75
静岡市中島下水浄化センター内地下水観測点設置の手続き	佃 為成	76～81
焼津市大富小学校内地下水観測点設置の手続き	佃 為成	82～87

淡路市ぬるゆ温泉地下水観測点設置の手続き	個 為成	88
重点観測点について	個 為成	89～91
付録：地下水化学分析結果および試料一覧		92～106
付録：水温・水位データグラフ一覧（抜粋）		107～118

重点観測点について

佃 為成

近畿地方の異常地殻活動、東海地域の異常水温上昇、南海地域の異常地殻活動に関係する観測点の主なものは監視のため今後も維持すべきである。

その他の観測点についても、今後地殻活動が活発化する可能性がある地域の観測点もできるだけ維持するのが望ましい。その地域には、歪変動が大きい新潟県地域、長野県糸魚川・静岡構造線に沿った地域がある。

現在大きな変動は報告されていないが、つぎの山陰地域の大地震は島根県と考え、雲南市の海潮温泉は観測点として維持するのが望ましい。

最重要観測点

きのこ園	近畿	異常水温上昇進行中
潮岬（林組）	南紀	短期異常昇温あり
古座川（杉生氏）	南紀	地殻変動との対応あり
大富小学校	東海	異常水温上昇進行中
中島下水浄化センター	東海	異常水温上昇進行中

重要観測点

海潮温泉	山陰	山陰の監視（テストケース）
ぬる湯温泉	近畿	淡路島の監視
武田尾丸木旅館	近畿	近畿の監視（水温低下）
亀岡桂商店	近畿	近畿の監視
倉下の湯	長野	白馬村監視
出湯温泉	新潟	新潟地域監視

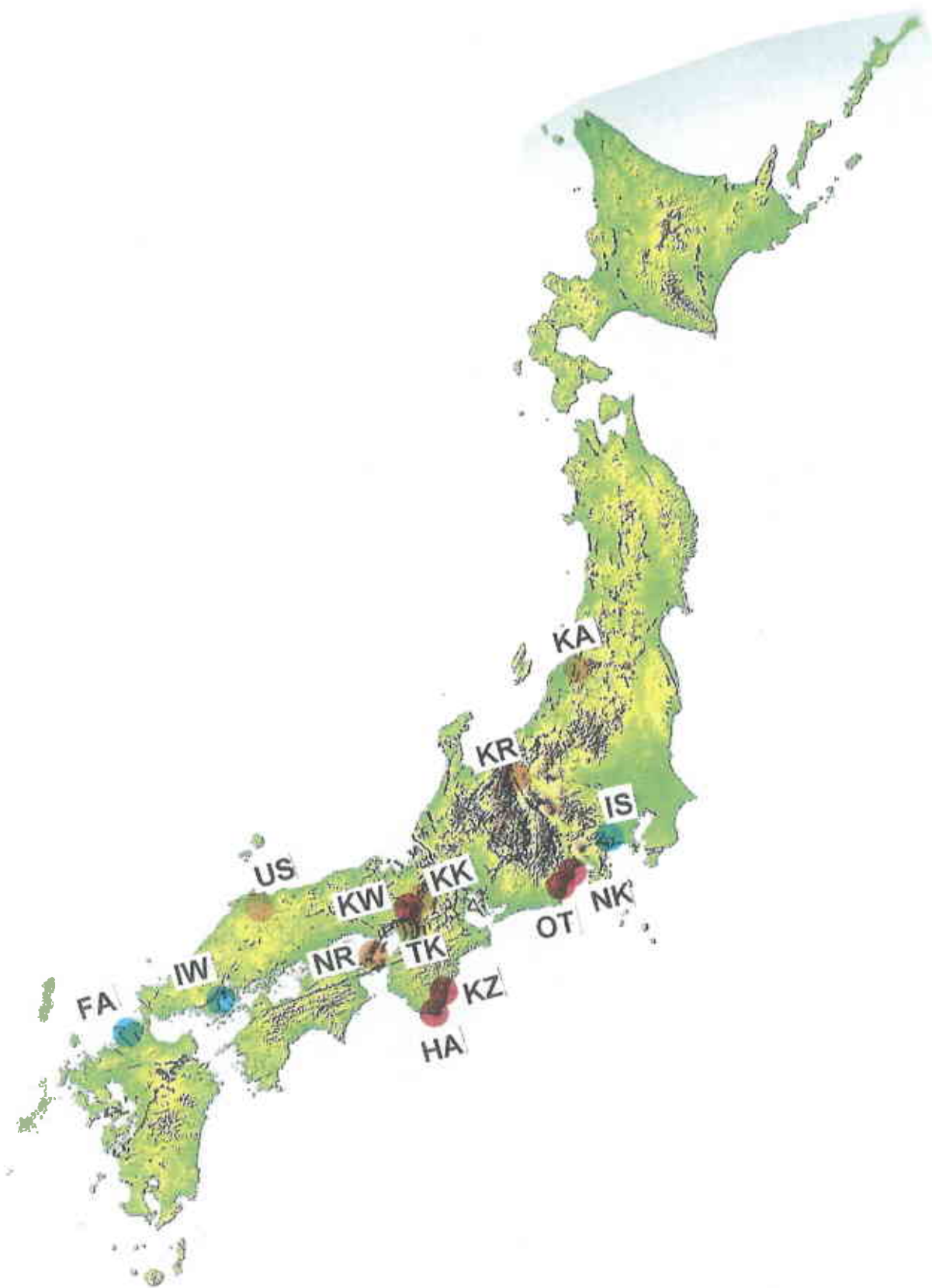
研究観測点

福津	福岡
岩国	岩国
伊勢原	東海周辺

上記の観測点は、それぞれの地点での特異な現象の解明のために長期観測が必要な観測点である。

その他の観測点では、可能な限り観測を継続し、新たな異常を観測したら重要観測点などに昇格する場合も考慮する。

観測項目は主に水温で、ところによっては水位や電位も行う。観測方式も順次、カード式記録計を導入し、データ回収の効率化を計る。この方式はメモリー容量も大きいので、データ回収までの期間を延ばすことができ、保守回数の軽減を実現する。最重要観測点は古座川を除き、すでにこの方式に変更してある。



最重要および重要観測点の分布